

広尾防災公園は、平成22年4月の開園を目指して、近隣の皆様のご協力を得ながら工事を進めています。現場は安全面や環境面に配慮して柵を設けているため、普段はなかなか現場の様子が分からないので、この「現場だより」を通じて工事の進捗情報等について皆様にお伝えします。

☆着々と公園整備が進んでいます！



6月に入り、広尾防災公園の建設に関する各種工事が活発になっています。

なかでも、公園整備工事では、開園した後に公園利用者が目にする施設の殆どが盛り込まれているため、少しずつ形が出来てくるのは、私達担当職員も楽しみです。

右の写真は、最も大きい広場「健康の広場」の周囲に設置する擁壁です。広尾防災公園は万が一の洪水にも対応できるように一時避難場所となる広場の高さを上げているため、公園の外周は多かれ少なかれ、このような土留めを設置しています。

とは言っても、災害時には、どこからでも公園内に避難出来るように、出入口の配置には配慮をしていますのでご安心を・・・

一番上の公園全体像の写真で、白い線に見えるのが擁壁です。



☆水に親しむ広場に四阿を建てています



広尾防災公園が開園した後、特に夏の時期に最も人気となる広場が、この「水に親しむ広場」です。

行徳は海や川など、水辺環境に恵まれています。行徳地区では、行徳駅前公園や南行徳公園等で水景施設がありますが、いつも夏季には子供達の大人気スポットです。

広尾防災公園では、先述の水景施設と嗜好を変え、大きく湾曲する流れは浅く広くし安全性に配慮し、所々に水が噴出すオブジェを設けています。

そんな水に親しむ広場には、暑い中で元気に遊ぶママ達が休めるように、四阿（あすまや）を設けます。水に親しむ広場の形状に合わせて、円形の休憩施設はまるで海辺の巻貝のようにも見えます。

来年の今頃、子供達が元気に水遊びをしている風景が目に見えそうです。

☆健康の広場の防球ネット



広尾防災公園で最も大きな広場である「健康の広場」は、100m×70mもあり、様々な利用が出来ます。

その中には、ボール遊びも想定されるので、住宅地側に位置するため、広場の周囲には防球ネットを設置します。

防球ネットの高さは約8mあります。これは、ボールの飛び出しを防ぐとともに、災害時などに緊急ヘリポートとして利用する場合の飛行ルートを確認する点から、高すぎず低すぎない高さを設定しました。

健康の広場については、芝生の育成期間が必要となるため、来年4月の開園当初は残念ながら立ち入ることが出来ませんが、夏が終わり「スポーツの秋」の頃には、広場を開放する予定ですので、御了承下さい。

☆散水設備も設置しました



公園と言えば「緑」です。広尾防災公園に植栽する樹木や芝生は非常に大きな面積となります。

これらの「緑」を綺麗に維持するためには散水はかせません。

広尾防災公園では、「緑」の適正管理のため、なるべく管理に手間がかからないように、自動散水装置を設置します。

もちろん、公園で遊ぶ方がいないのを確認してから散水します。散水時に虹が見えると子供達は喜びますね。

スプリンクラー→



☆公園の血管「電線管」を配管します



広尾防災公園は、その名のとおりに災害時は一時避難場所として利用されます。

万が一の災害時、夜に真っ暗となつては避難者の不安を増幅させるところか、様々な活動にも支障が出てしまいます。

そこで、広尾防災公園には、非常用自家発電設備を設置し、通常の公園灯を千鳥配灯します。

このように、公園だけでなく、私達の家庭においても「電気」は必要不可欠です。

現在、電気設備工事では、左の写真のように電線管を埋設しています。

私達の体に例えると血管です。公園全域に電線管を張り巡らし、電気を供給します。

その電線管の距離は何と約7,000mにも及びます。

全て地面に埋まって見えなくなりますので、今のうちにちょっとだけ紹介しました……

※今までは、地下構造物や敷地造成等の工事でしたので、「現場だより」に掲載する程の“ネタ”ではありませんが、これからは日々、現場に色が付いてきますので、私どもも頑張って「現場だより」を通じて皆様にお知らせしたいと思っています。工事中は、近隣の方々には大変ご迷惑をおかけしておりますが、本事業へのご理解とご協力を宜しくお願いいたします。